

登録コード	TSY05500	開講年度	2026				
授業科目	建築心理学演習				担当教員	柳瀬 亮太	
英文授業名	Architectural Psychology Exercise				副担当		
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			【授業の達成目標】			
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力			【研究科共通】学際的知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力			
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力			【専攻】学際的知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力			
(2)授業の概要	各々のフィールドに即したテーマに関する知見を収集し、そこから見いだされた課題に取り組む。具体的には、簡単な実験調査を実施し、そこで得られたデータを分析して研究レポートを作成する。後半では実空間（須坂市街地）を対象に公共空間に潜在する資源や問題を掘り起こし、それらの活用方法および解決法を検討する課題に取組む。その成果物として、公共空間に関わる人の諸活動を支援するファニチャーをデザイン・製作する。						
(3)授業計画	1. 人間が体験する空間を見て回ると同時に、既往の文献を持寄り、その内容について紹介し、議論します。 2. 議論の内容から取組むべき課題を絞り込むとともに、関連研究を渉猟します。 3. 実空間（須坂市街地）に足を運んで、特定の公共空間に関わる問題および解決法について検討する課題に取組み、その空間に関わる人の諸活動を支援するファニチャーをデザイン・製作する。 前期 第01回 ガイダンス 第02回～08回 公共空間の巡検（庁舎、駅舎、図書館、古民家、リノベ物件、公園、歩行空間）および地域資源・問題に関わる議論 第09～14回 地域資源および問題に関わる調査 第15回 取組みに関わるプレゼンテーションおよび議論 後期 第01回 課題対象とする空間に関わるレクチャー 第02回～第04回 課題対象とする空間の実測および調査 第05回～第08回 課題対象とする空間に配置するファニチャーの計画（ディスカッション） 第09回 課題対象とする空間に配置するファニチャーの計画（プレゼンテーション：提案） 第10回～第12回 課題対象とする空間に配置するファニチャーの計画（要望や指摘などへの対案作り） 第13回 課題対象とする空間に配置するファニチャーの計画（プレゼンテーション：選考） 第14回～第15回 最終図面の作成・発注						
(4)成績評価の方法	議論・課題への取り組み・成果物の内容により総合的に評価します。基本的に90-100点を秀、80-89点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。						
(5)成績評価の基準	最終図面だけでなく、資料収集・議論・提案などのプロセスを含めて、基本的な手続きをクリアできている度合いに応じて評価する。						
(6)事前事後学習の内容							
(7)履修上の注意	受講に先立って、心理学および社会調査法に関わる基礎知識を習得しておくことが望まれます。						
(8)質問,相談への対応	講義中もしくは前後の時間、時間外はTeamsにて受付ける。						
(9)その他							
【教科書】	課題に応じて随時用意します。						
【参考書】	日本建築学会「建築・都市計画のための調査・分析方法」井上書院 日本建築学会「人間環境学」朝倉書店 日本建築学会計画系／環境系論文集						